第廿五編

万亭應賀作

上

Gôkan:(012)
Shaka Hassô.
Part 4.Book) 21-40.

へ 13
3749
24

門 へ13
號 3749
冊 3

倭文庫

四拾九編

上の巻

萬亭應賀作

歌川國貞画

戌のさる新ばん

外題彰安

釋迦八相倭文庫四拾九編叙

夫一切の草木ハ皆鬼神の村なれバ村巷道市山城みな鬼神ハつく空しれ所なく其名其所ニ依て名とせる故村ニ依てハ村と名づけ城ニ依てハ城と名とされバみどりに傷る事なかれと故ニ大莊嚴經論第三の說を聊茲ニ引て目蓮ハ曠野ニ草繫乃比丘に設おまさ鐘がかうれの炙医上鵜ハ盤道より盤若湯ぐ龍尾の差身乃ほつべき食も腹立上戸ハ組合ニもいろもおさぬ跋難陀なんぞか蛇の和鮮らんと蛇と知れ筆をのるゝも而已

文久二稔壬戌
青陽發兌

万亭應賀誌

○世尊の前生霊鷲山の鷲にて
⌂父母に孝養して尽されしが故其功徳を以て今世成道を遂玉ふ
△其時の霊鳥餘鳥に残して佛法の怨敵を害せ
○跋難陀

罽尼吒王
安息王と闘て
九億の兵を殺せし
罪ふよつて地獄に
墮べきを馬鳴菩薩の
助を以て大海の
たちまち千頭の魚と
なれど
◯天より剱降て千頭を斬ふ
復生を此苦患を免んが
為ふ國夫人の夢
ふ☐
☐捷雅を
◐
◐達立ゑる
ことを
求む

四十八編

[illegible]

〈つぎ〉うえのを
かれどかくる
三五郎ヲを
あらんやその
[illegible]

[illegible]

天
万
馬

左より
右へ

文久二年壬戌春新板目録

倭文庫出世双六　一力亭應賀作　一陽齋豊國画

春の手遊 将棊双六　同作　歌川貞房画

男女振合 役替双六　抜かりろき かけつまあり　同作　一陽齋豊國画

武家奉公出世双六　同作　同画

奥奉公出世双六　同作　同画

子宝延命袋　紅摺全冊　同作　歌川芳玉画

重榮御江戸繪圖　奉書四枚半續

大寶御江戸圖　極上摺奉書六枚半續

倭文庫四拾九編
歌川國貞畫
錦重堂梓
下

○さて[illegible]せん[illegible]しやが[illegible]まうして[illegible]二つの[illegible]目蓮殿を[illegible]「やヨゆく[illegible]

[illegible]

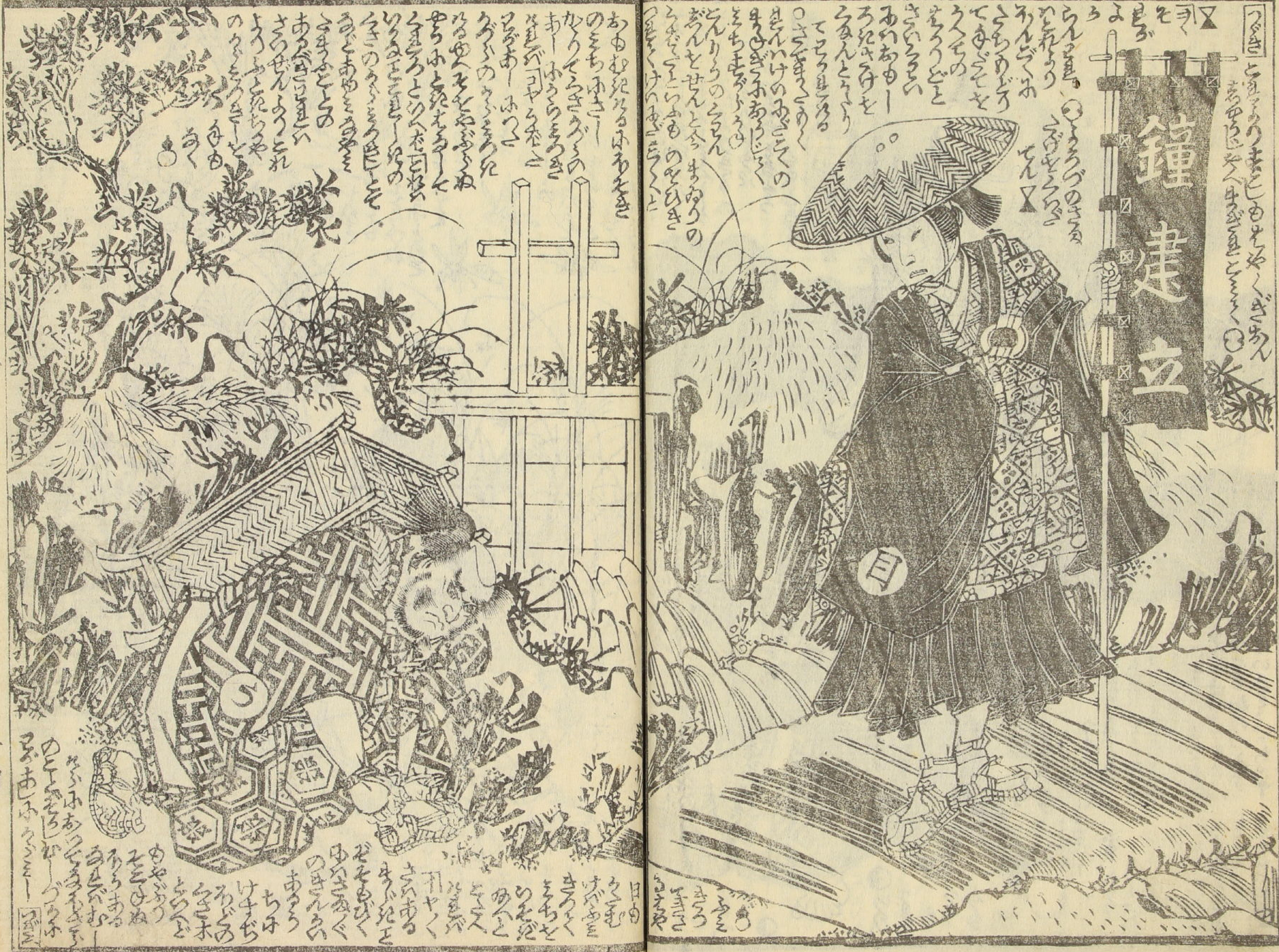
[illegible]

やまと
婦んこ
四拾九編
下之巻
應賀作
戊の春
新板
國貞画
錦重堂梓

鐘建立
祇園精舎
執事

つゞき とおかめのまどにあそぶくぎあん
おかめはそれへまゐるところ○

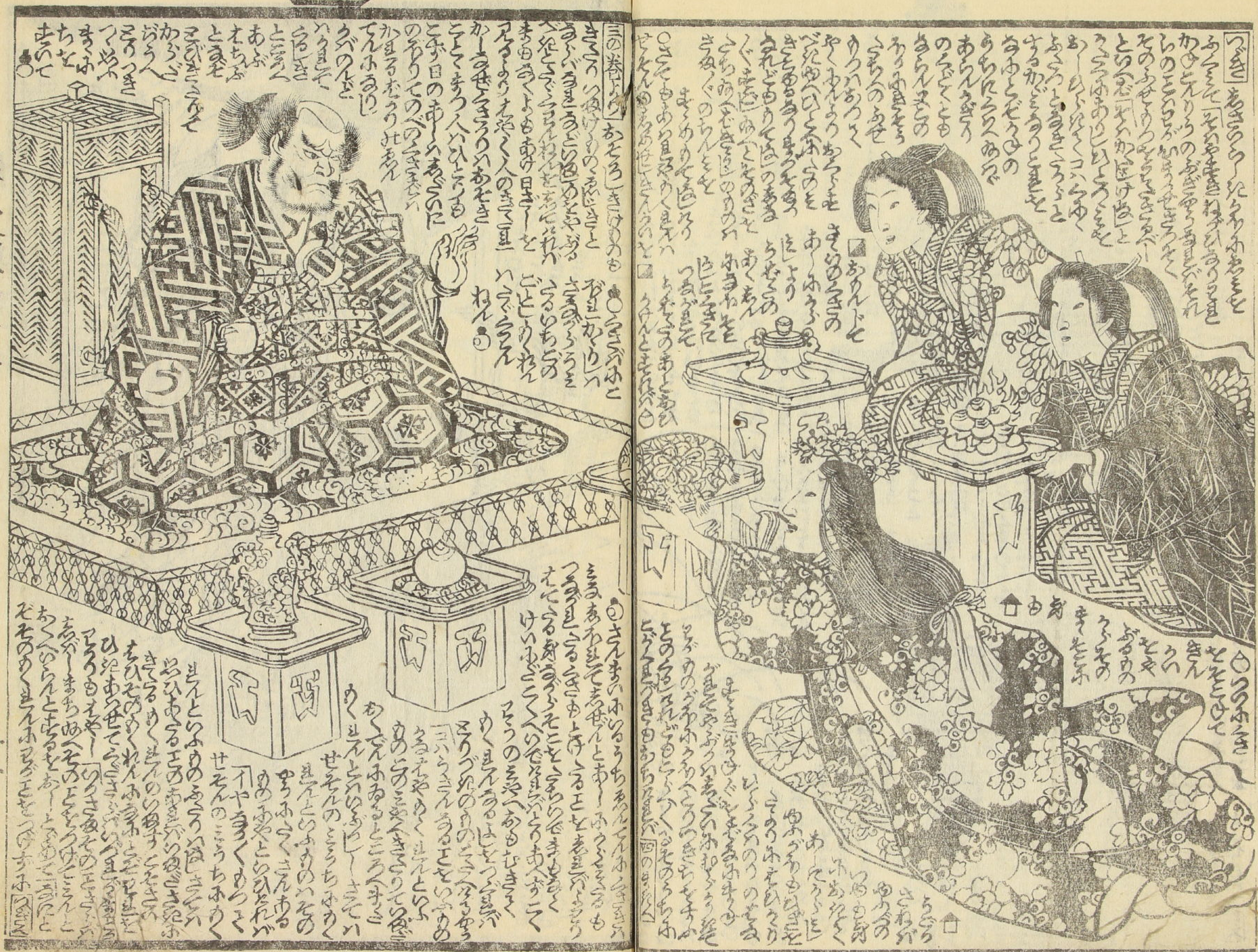
ヌきく
をとぶ
よろ
らんのま、○まろうづのさゝ
ゆるれより　うげをとらぐ
おんどくは　どん
こちらのみどり
てきぐそうそを
うくその
やろうどと
きいらうがい
あれおもし
ろれさうけを
らまんとろうり
てころまへる
○さてきてくのく
まんいけのみどころの
まるさぎくおあるじく
そちもまぶらる○
とんりゅうのもらん
おんをせんと今　まゐりの
らみてでこらふも　のそひき
つきざくけのまでいらくと



おかむ紀みるふおそき
のこちふさし
かりてみきぐくの
あし　ふうらまつき
なまぐ司ヤみ衣さ
でぞあし　ふつて
ぐふのみくさる紀
みる出くそどやぶくね
出らふと紀むらして
くまぞろとめへ衣司松い
いうみてでまし紀の
そこのみくどうの臣しをそ
あぞとおゆをそある
ふまつぞとの
あるべきはまへ
さうせんよりどれ
ようふと花ちのや
のたそろきしと　そも
あく

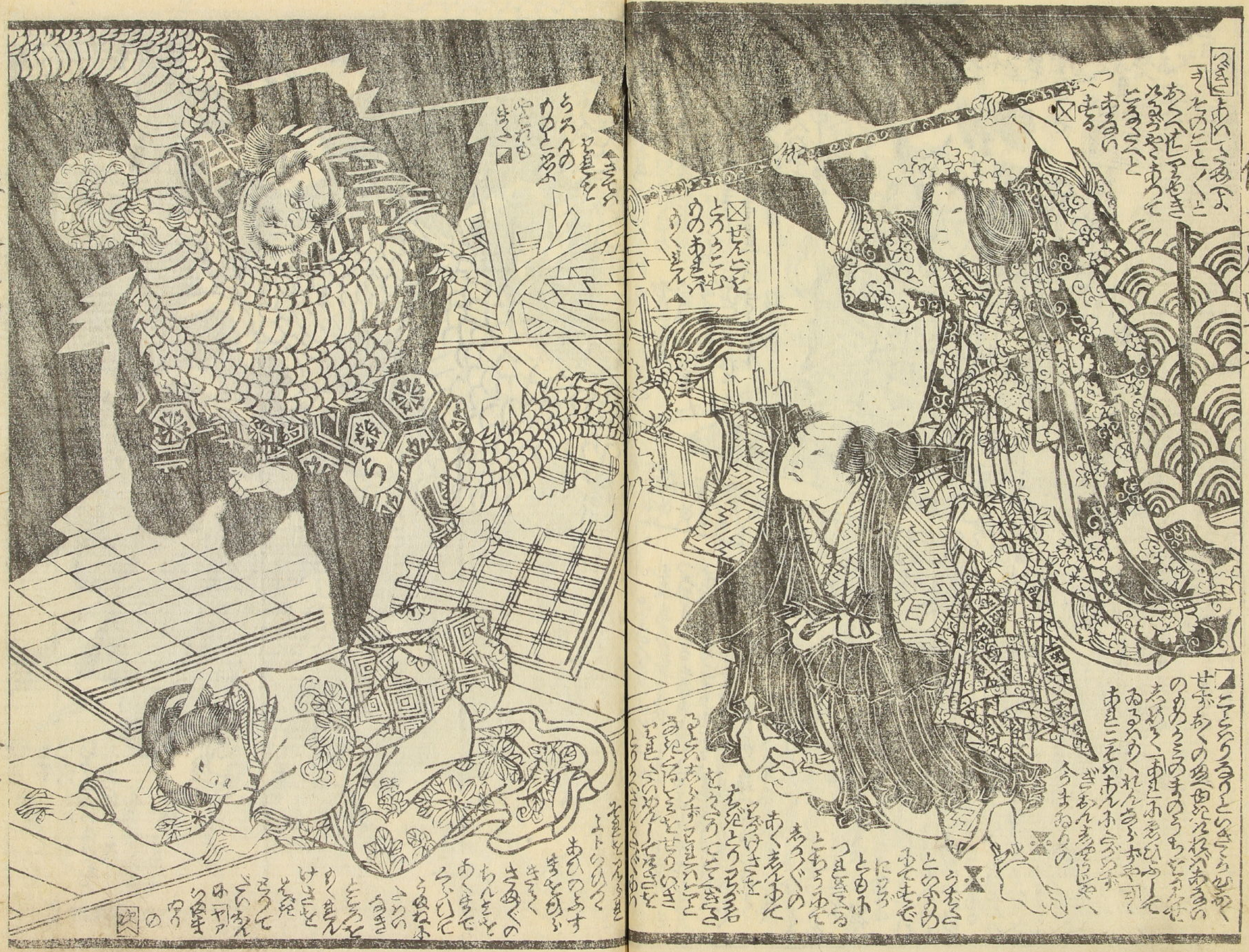
日白
くさむ
けがあそ
きうく
まちそ
らそ紀
めへと
ぞうえ
みまが
れやく
きるある
まで紀て
ぞそもひく
ゆうさあぐ
のきんらく
あるろ
ちふ
けさぢ
わどの
らきを
とらど
めやぶつ
そこよぬ
あらある
あとどれむ
みぶふあらぞまれぞて
のとぞそろ臣むしづらふ

ふと
きろ
まさ
らえや



三の巻より おそろしきけものも [illegible]

つゞき のぞくとも あらんまじの [illegible]



つる吉「それより二人を[illegible]のゆかり[illegible]
[illegible]
しんきやうにて[illegible]
ちんと[illegible]しりて
あせ〳〵と[illegible]
の[illegible]のうたを
をりから
きこえけるが
ふ[illegible]に
むく[illegible]せん
さしくと
のさまへいそう
[illegible]

[illegible]「あのうへは[illegible]
[illegible]
[illegible]

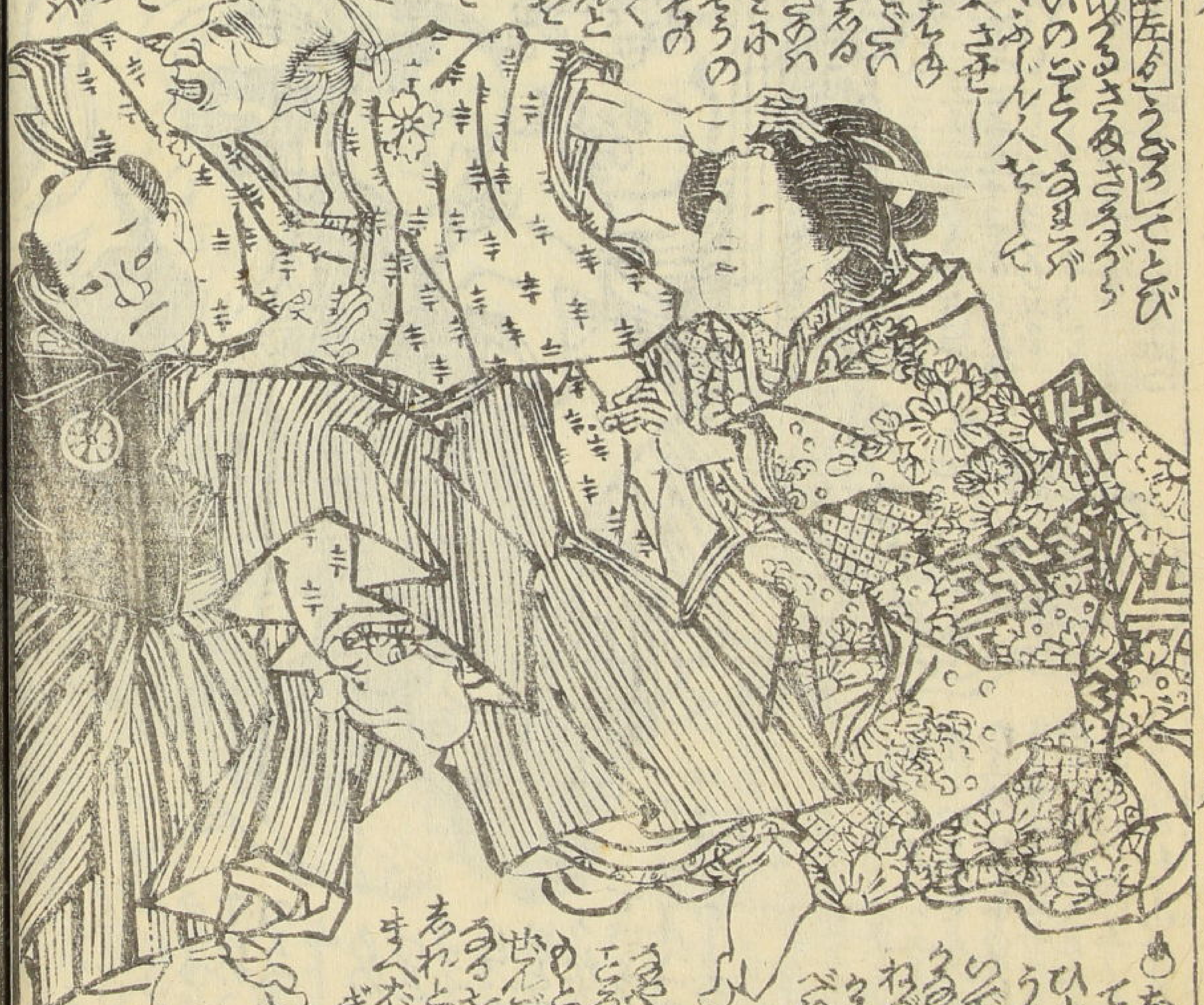
[illegible]「このむとあれば[illegible]
[illegible]
[illegible]
しやまあく めく
[illegible]
[illegible]
[illegible]
もとの[illegible]
よもうく

[illegible]
[illegible]のごとき
[illegible]
大[illegible]
[illegible]七宝
[illegible]宮殿[illegible]
[illegible]

[illegible]
めぐらす[illegible]のせうのうたを[本右へ]

さがして[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
天ほう[illegible]まると[illegible]を
[illegible]さる
せんべんぞ
あそさ[illegible]
げら[illegible]
さごきう
ふすまそ
さよえ
千ねん
万ねんの
うち[illegible]て
[illegible]の
[illegible]
とてひ[illegible]



あも[illegible]ひとり[illegible]

※[illegible]

※[illegible]

万亭應賀編

歌川國貞画

[illegible]

[illegible]

備書

文久二年壬戌春新板目録

倭文庫　四十八編　四十九編　五十編　五十一編　万亭應賀作　一陽齋豊國画

重の井菱染別小紋　八編摘　よとぎり同　為永春水作　画

昔語小栗實説　二編　三編同　松亭金水作　画

花山吹百人女郎　初編　二編同　柳亭種彦作　画

浅草みやげ　五編摘　よとぎり同　十返舎一九作　画

常磐津懐中本　初編　二編　三編　四編　小本にて　節付あり　極上ずり

㊎重　繪艸紙本類　人形町　上州屋重藏版

倭文庫 五拾編
万亭應賀作
上

釋迦八相倭文庫五十編叙

夫夕霧の文とうつゝなく富士山を張包にするとも。諸經の説と銘細に傳記ろぶとさへいちんや小本にれんくとやきれバ。兩人と一人ハ兼させて修迦羅とぶ玉盗人過去の債の一説も長爪林九士の儲役扨善愛女ハ兩人有一人ハ修迦の娘にて三明六通の善女ならバ此巻ゆハ是をとうらバ一人ハ波斯匿王の縁女にて朝暮鸞鳥鏡に向ひ。凰紋を取て婉娩を旨とされバ慳貪心の重荷に小附と瑠璃太子の母に擬ふ。就中目蓮が天の美禄に二日酔ハ竜を伏せし沙渇陀が傳る二鷹三茄子下手の談義も初ゆめの福壽草紙と洸して見るべしといふ

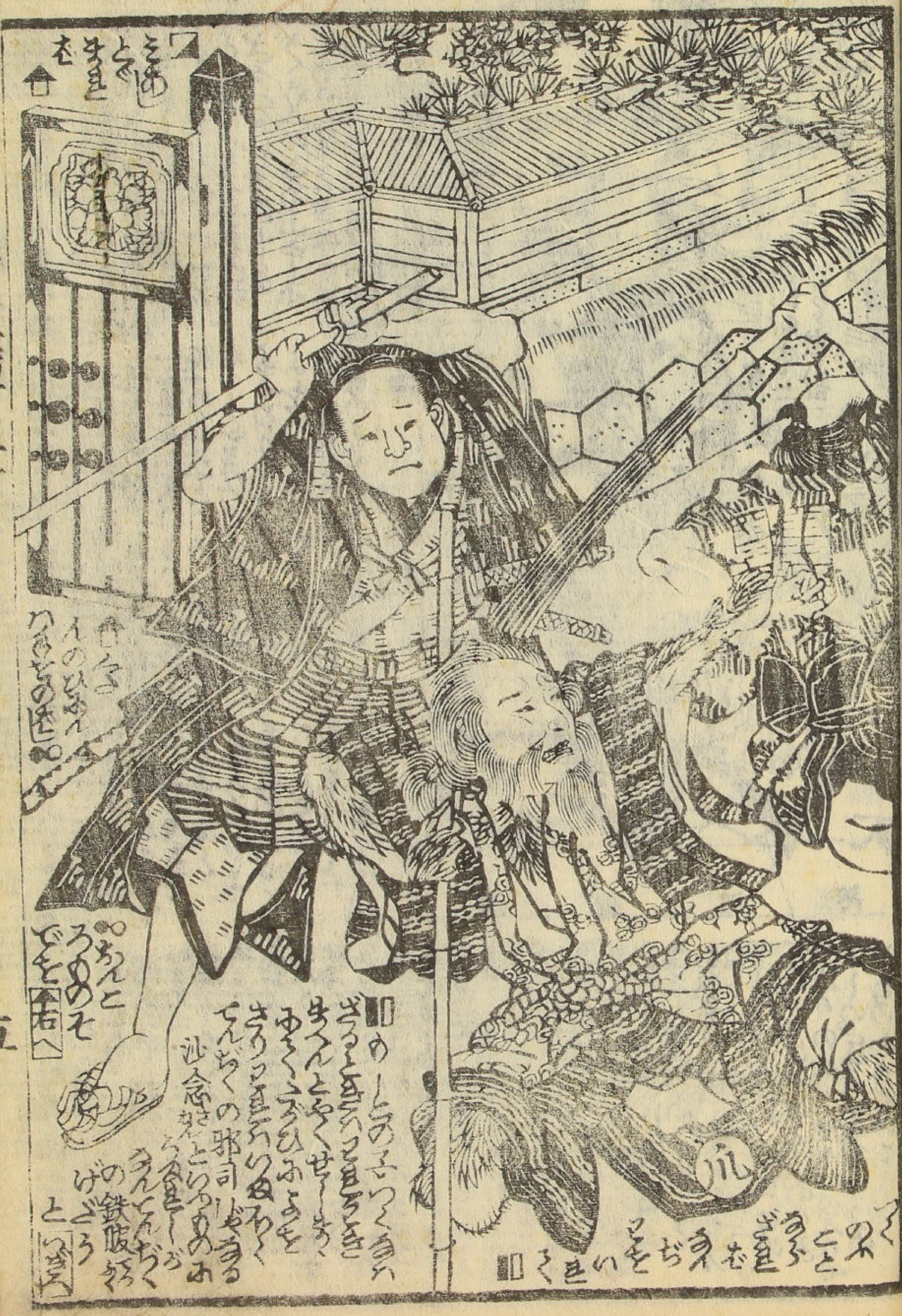
文久二戌春

万亭應賀誌

○百縁經第四の説
世尊
過去波羅奈國梵摩王の
○そん……の太子
後世釈尊
蒱相の子婆羅門ニ五百金の樗蒲博ニ負て債索るゝ責を免ら
若彼不與べ我らをかくそんと約せし由を今世その難を
○むらきん
後世長爪梵士
太子と遊し時遊戯の道ニて
○だいおんの子
後世須達長者

未曽有經の説
波斯國王の皇妃
末利夫人
妄語飲酒の戒を犯して玉盗人修迦羅を救ふ
同王の綵女
瑠璃太子の腹
善愛女慳貪ふして佛法を謗る
此瑠璃太子成長して父兄を害し
迦比羅城を大ふ責る
るり太子
ぜんあい女
世尊
まつりふじん
厨監
修迦羅

うつりてあんの
そのみつきこゝ
ろづしを
ねがはくはひさうをくとのおんしよちを
せそんのかしらにおかるゝつのゆへ
あまりつらきそをつまずまみ
せめてまくらまてなみだぐくは天王寺
あまがめあまりつきそくさぬ
らかどもをともかくてのぼるくらんの
ちからもちからきあれまんた上人
おかむむかしあるいふかきものをしく
まこくとくうつく
みさいかあるんの
よろこびあがりく
あくらずらくてぞ
せんのしるきつさる
やすくへいあしらくあまりつきめして
めぐらせさあらしてぞ
お山のありさまをきてゝかきふわまとゝひ



[つゞき]いかめの五百の図をとりつくの八も
とつゞけのあひあありく　とつゝあるとよ
そもそも…こそさまで　ろるがあをゝをるさ
ちのまふ子のそくのわとふ　こゝまてあおあしぬまし
わるまるあふさてさうし　いかもあをまんけあり
ことまるふんかーてひとん　ねがらくかひとこつの
くの竹ろうへきまされ　あるーやきづけ
ざるゝともろまーし　るとねれーしるゝまべ
づくめんのさむ山中ふ　よもんてくられまる
とのりゝるとき弥支佛　ののあまとてそのと
ばくをいめのてあんぢの図　きのとてんあゝちある▼

▼こほまるひとゝるの
四知ちりゆりとふあひ
まいさいせごろちの
わとけありまるとを
あふぬとのへまこて
まるとあるさぶく
すくるさたおのいのよ
らすかそれその〳〵るし
とふくへせそん
まんいちあそぬと
あらべその地ちの◉

◉つちを命ふのかべ
うちまちそのつち
火ともりてその…
ろそあくいまいのそれ
をあふいまし…
すゞふのそんちのすぐくせい
いろゝとあゆふろあり
とぞぎ…るとれふ
ようくいせむ地のちひめを
せむとよおまづちそろ
うあふさるふあふず加の
ちふくのちひめ二百り
まそるが宮あまりとうふを
きとめしてせそんやうえど
とーして…
うきのめまんちゝのふところ
つ母むりめいうりのすふだ
さりあずふあとふ言を今
かのてろふくけぞうへようを
さりーとさてしふの見白
あそれあんちあふうらーーく
あふひめをせう…とふあしん
がひれけふめつと…のくるさ
ひ…のめーをうへ四くりて
さーいきめかめぞ…しらふ
ひとのあのその…とに

かきのりてきらく国のちち
そろきまゝぞそみりりとく
さまずらいけるのやとてあるる
をみ母ろくいのふんめん
きそゆうきてくあのぞうり
うそじくうちらんそのおのの
ちらあくらうあまでぞられあり
あくりふひとの法のぞおおく
せんもろーうまぜあうけはるふ
ろうゞのそらまの給をとそらに
まきまぞくそのよふうひの
銘ゆふりくそとままんにふ
ま…るちゑそるふ
…まんさてちるめの
うあふそらの…くとを
あそるてぶ…の…
そるふを…ちるんをそちら
ふうくひつるとあじくるを
めりくときひとくれ
てろあく…とあるをき
ふあまふとくそろまうくち
やーく　あのかふのふとぞ
うれとろんぎまずーく
まらじつくうらまんのまる
をうちぢらんとまやふの…ん
ぞの日ときりて…
きうのあらちをまてげんと[次へ]

つゞき さてもかのぞんじとおもひ そのあくる八ッにならんとするころ ときのひし ふあんのごとく これかろうぎのりくさかへのまへに ふちどんのところへあるくにあらわれ こゝろをおちつけ のちのごとくをあんじ ひとゝして そのひと舎利女 ぼさつのうへのことを じやうどへひとよりの宝を さとるのみの なんぢらのあら もろびとのひと ぞんぜられ あとをえらんで ひとまへにいくる ふろびのひと よろこびのひと さうとうのかう はなれてれる めでたくて したがひまする いのちかぎり うるはやどして 三月ふあよび

つゞきかくてかきこ まちぶらうり そちかふみかんぎ をまらけーふ あふのふへへつ もきくそごろ いのとそのべん ぜつきらきうみ のごとくふつき そのひよせ それからのちに もちーおのこ とおかひく そのむちさへ まひかんどころ の相者まで のあらせおべ そおふのめとこ のさうをとき るめふこまへ

〔上へ〕

〔下へ〕まつるもぞんねん当寺ばいそぎ ちゐのかくありてあわねく あんりを きまへいとまゆまく 南方鏡の宝あき こゝのてゐるひるのころちかく せきたく まるとてそれもあやく十八のぞかきあつ とそのんまるみ凢めときる ひかきさへ（一）とろあくようゝつけて〔つゞき〕（一）とーめいつめのあつ宝とくして ゆびのまさる そのくひとわるる まつのゆき名をよぶおさそ又 こまで山へこまつとききのとをまかして それとまく五百のころ

まうかつきるふふみてきさん かくのごとくる言べうるや のちれそのちるるをいへつゆき ときうあやもそくへを多くを つゆくちうふくいのとめのちるふ まけまく 錫杖のちるふ

つゞき
ろこをりなてらのちらちんぞくあらまゝとくのわちうゆくちまわなくれそたるがその子へ一子ぞうまきにとあうそまくぐゞけとあびたるがそのごてその名をとくとりてあそりわらとあらくわせんそんのでしのちゝう〳〵あつまとをきでそりこそはあふがかくうれぎにさのあそともちた

左ゟ これぞろくのひめんくろがふんこれちがふぞよとろべきとろけあゆあらふうまとそのひとゝのぞんをまゝゆしほんまうろそとにらくべきちや千でうの手んのふねくらのうのそうもあまとむしろいちまへわ

わくらふ歌やそくへのまとりあへのあまう敢うとかしとのはふまのうすととろくとのとと君ろへのうちへきとえあるによりてきこきの
赤利侠ふあんせえんのあんおんでまてひうそやつらんとをとさくのうろもとのにてとのめのふねどと手ぶ西衆せそんのつうろをさ南てやけせ夜た紀あうのひきうちせーとこうひげらひそろ一てぞのおとはヤア ちかで一やをまてつのでとた紀あつはそちかまそ〳〵つうみでまうとそんぶ

この一とんちくのうち十六のふくらく八方四半のところとくとひつらげてうまへゆきさうんあうまれバ

手遊 春の将棊双六 同作 貞房画

倭文庫出世双六 應賀作 豊國画

武家奉公出世双六 同作 豊國画

男女振合 役者双六 同作 同画

子寶延命袋 紅摺全一冊 同作 同画

奥奉公出世双六 同作 同画

大寶御江戸繪圖 極上摺奉書六枚半継

重榮御江戸繪圖 奉書四枚半つぎ

歌川國貞画
外題画
下
上州屋

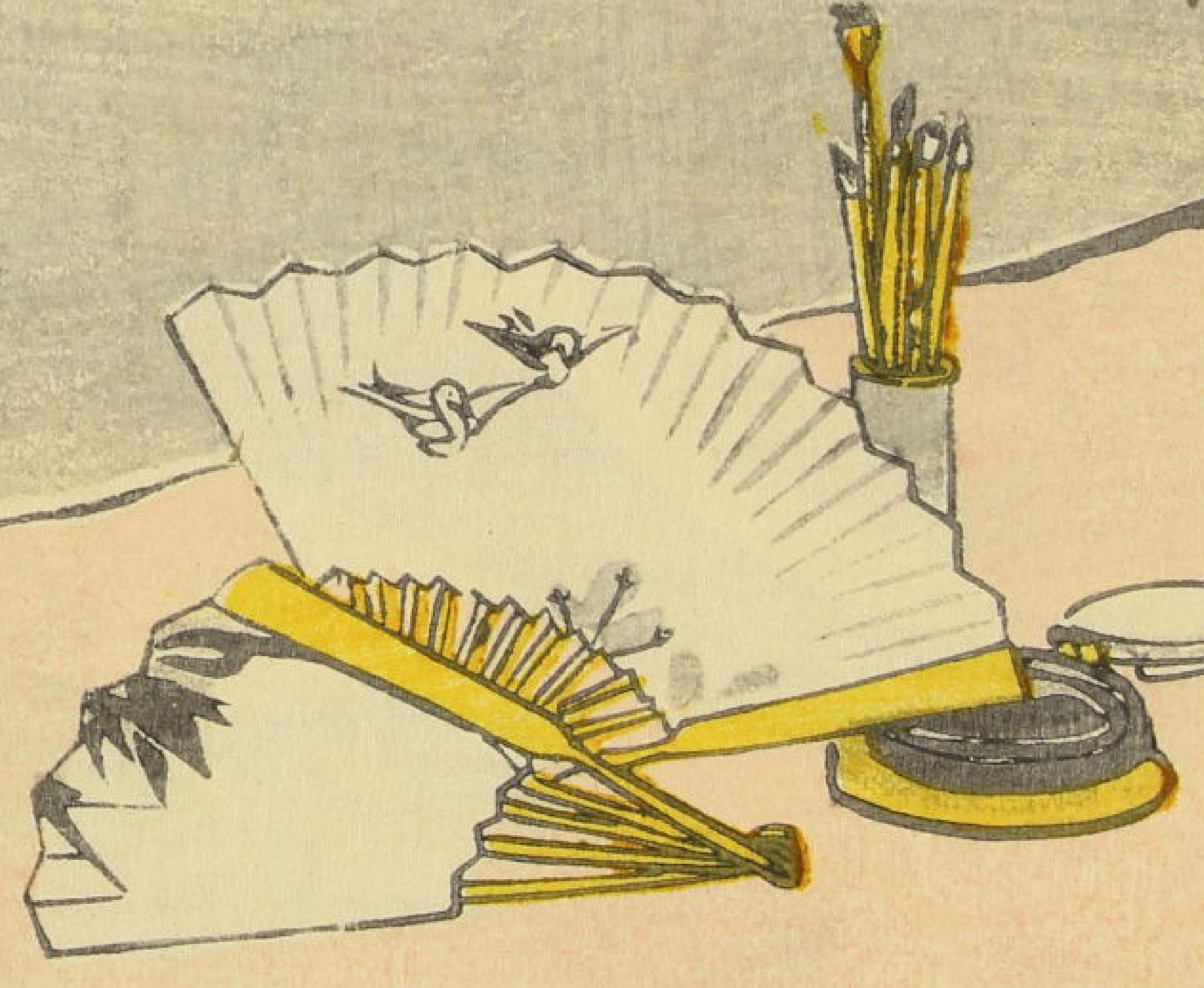
上の巻のつづき

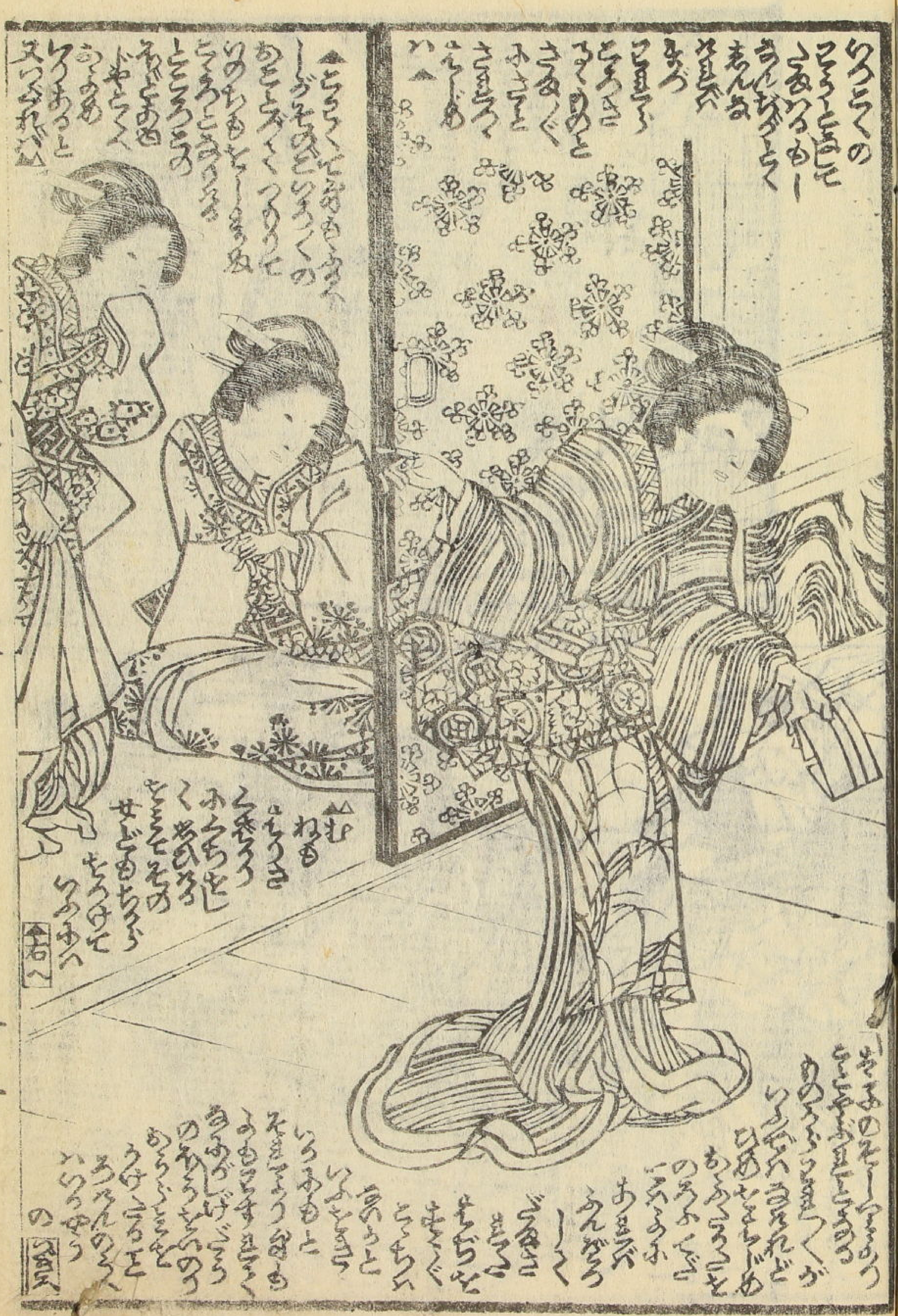
倭ぶん 五十八へん 下

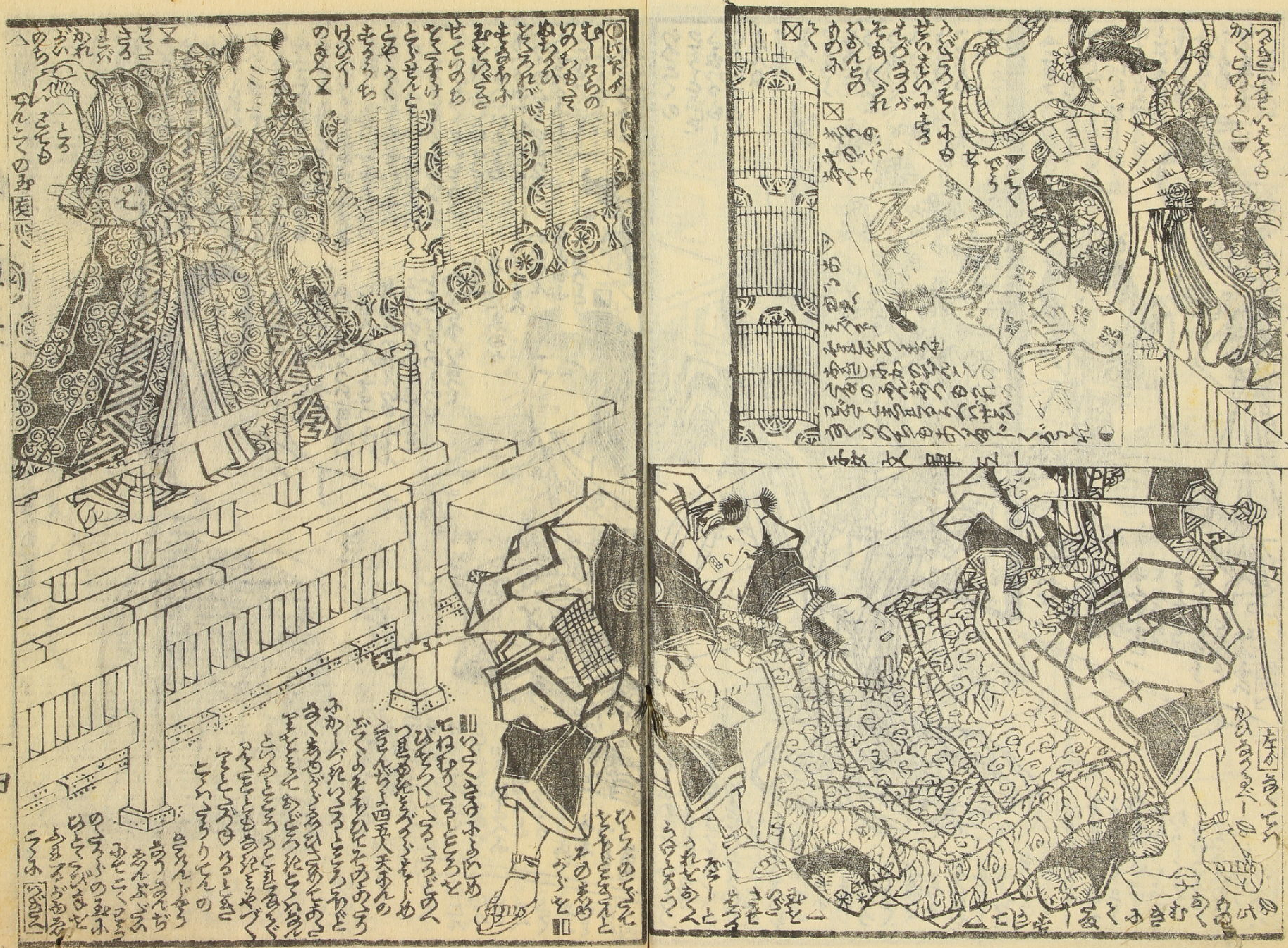
萬亭應賀作

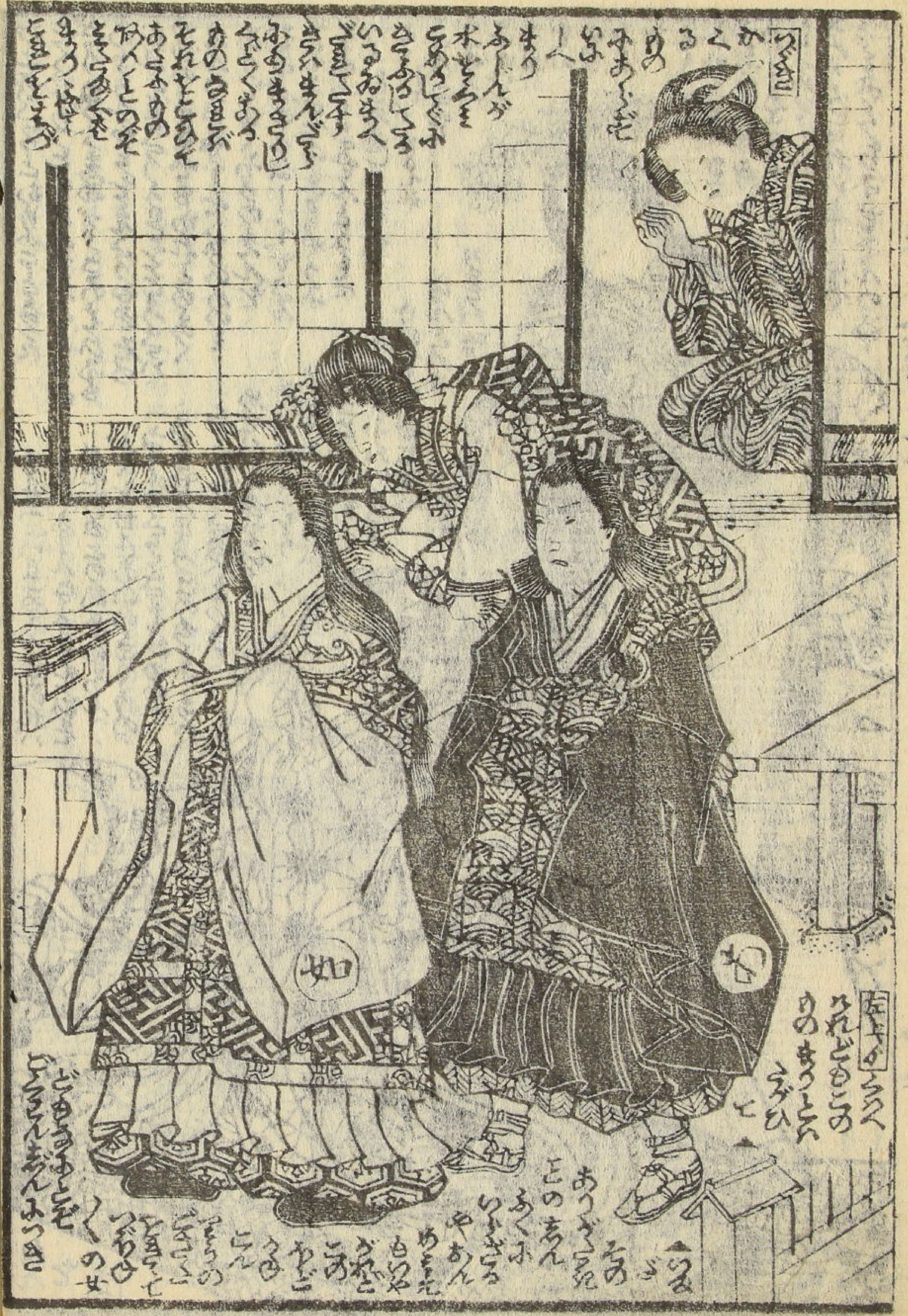
歌川國貞画

上重板









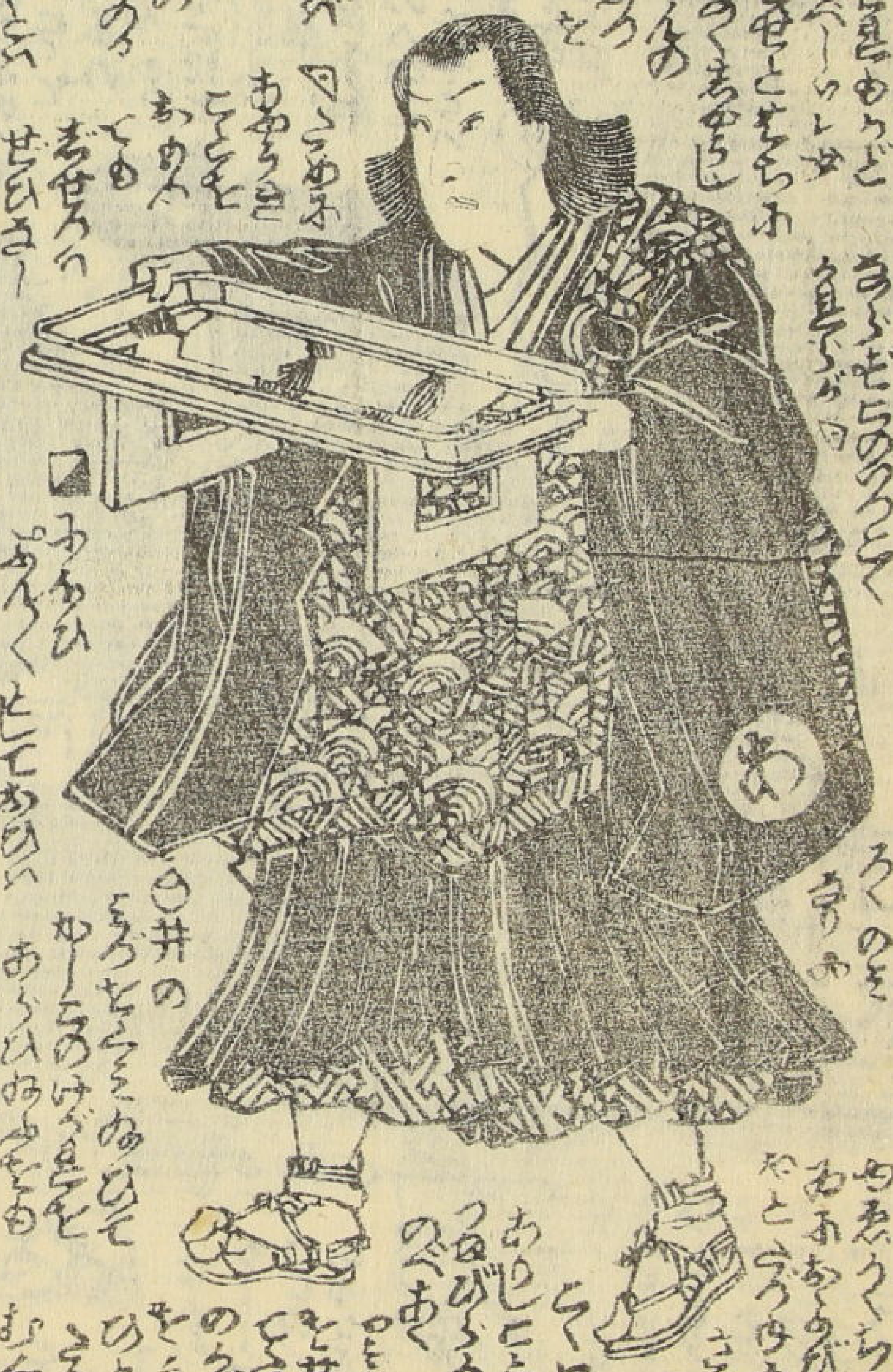
つゞき

[illegible]

[illegible]

右へ

[illegible]



万亭應賀作
歌川國貞畫

文久三年癸亥春新版目録

倭文庫(やまとぶんこ) 五十編 五十二編 五十三編 五十四編 万亭應賀作 一陽齋豊國画

重井菱染別小紋(かさねゐづゝそめわけこもん) 八編 大尾 為永春水作 歌川豊國画

昔語小栗實説(むかしがたりをぐりじつせつ) 二編 三編 松亭金水作 同画

花山吹百人女郎(はなやまぶきひやくにんぢよらう) 初編 二編 柳亭種彦作 同画

浮世のみやげ 五編 大尾 十返舎一九作 同画

常磐津懐中本 初編 二編 三編 四編 小本 [illegible] 極上品あり

重 繪草紙本類問屋 人形町 上州屋重藏板

本生 市川女歌